

# 日本気象学会

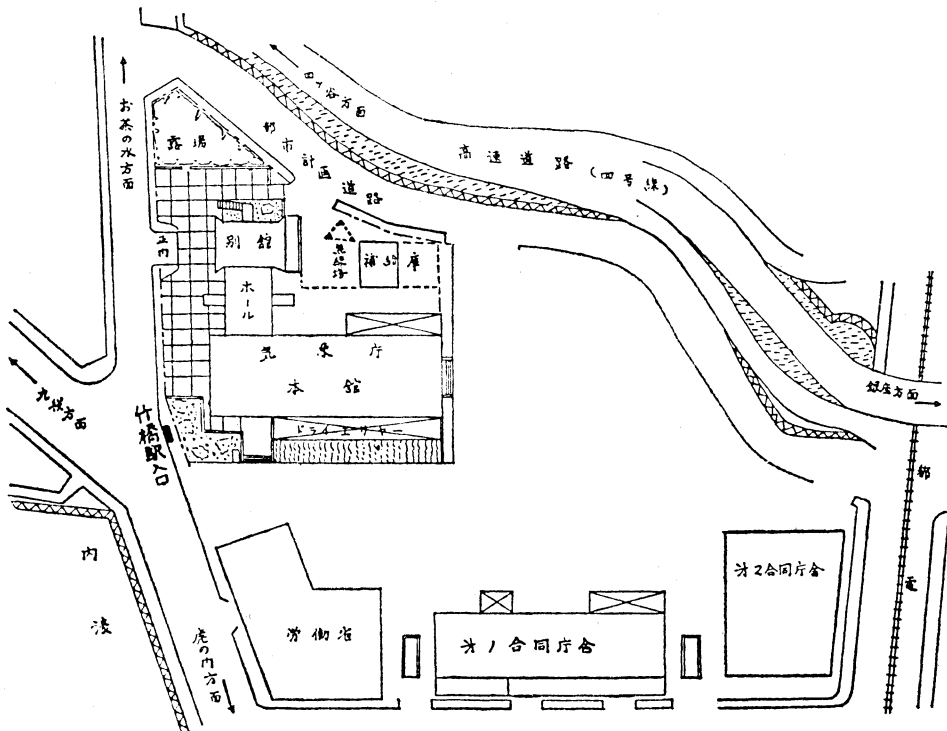
## 昭和48年春季大会

会期：昭和48年5月22日（火），23日（水），24日（木）  
 会場：気象庁（東京都千代田区大手町1-3-4）

### 目 次

日本気象学会昭和48年度総会提出議題	152
大会行事予定表	153
総会次第	153
研究発表内容一覧表	154
研究発表題目	155

### 会場案内図



（道順）地下鉄東西線 竹橋駅下車がもっとも便利です。

## 日本気象学会昭和48年度総会提出議題

会費の前納、入会金の値上げに伴う定款および細則の一部改正について

### 提案理由

さきに『天気』2月号にてお知らせいたしましたように本学会の財政は極めて苦しい状況にあります。第17期理事会では財政建てなおしのため、いろいろと策をたて特に賛助会費をはじめとしての収入の増加に努力してきました。しかし、これだけでは運営は困難なので会費の前納制度と入会金の値上げによる増収も考えています。このため、理事会は会費の前納制度、入会金を値上げするための定款および細則の一部改正を提案し会員各位の理解と賛同を要請いたします。

### 改正案

(i) 定款第6条1項第1号および第2号の「納める者」を「前納する者」に改め、同条第1項の次に「前項第1号および第2号の会員の会費の納付期限は12月末日限りとする」を追加し、第7条の「100円」を「500円」に、「会費半年分」を「会費」に、改める。

(ii) 細則第4条の「半年以上の会費」を「会費」に第5条の「分割納付」を「納付方法」に、改める。

### 附則

この定款の変更は文部大臣の認可の日から施行する。

### 参 照 新 旧 条 文

新 条 文 (改正案)	旧 条 文 (現 行)
<p>第6条 この会員の種別および会費は次のとおりとする。</p> <p>1. 通常会員 この法人の目的に賛同し、次の区分により会費を前納する者</p> <p>2. 外国人会員 外国人でこの法人の目的に賛同し、通常会員に準ずる会費を前納する者 (第6条1項の次に、次の第2項を加える)</p> <p>前項第1号および第2号の会員の会費の納付期限は12月末日限りとする。</p> <p>第7条 通常会員になろうとする者は、通常会員1名の紹介により入会金500円を添えて入会申込書を提出し、常任理事会の承認を受けなければならない。入会を認められた通常会員は、ただちに会費を納めなければならない。(以下略)</p> <p>細 則</p> <p>第4条 新たに入会した通常会員は、会費を前納しなければならない。(以下略)</p> <p>第5条 会費の納付方法の細部および日本国外在住の会員についての送料通信費の徴集については適宜常任理事会で決める。</p>	<p>第6条 この会員の種別および会費は次のとおりとする。</p> <p>1. 通常会員 この法人の目的に賛同し、次の区分により会費を納める者</p> <p>2. 外国人会員 外国人でこの法人の目的に賛同し、通常会員に準ずる会費を納める者</p> <p>第7条 通常会員になろうとする者は、通常会員1名の紹介により入会金100円を添えて入会申込書を提出し、常任理事会の承認を受けなければならない。入会を認められた通常会員は、ただちに会費半年分を納めなければならない。(以下略)</p> <p>細 則</p> <p>第4条 新たに入会した通常会員は、半年以上の会費を前納しなければならない。(以下略)</p> <p>第5条 会費の分割納付の細部および日本国外在住の会員についての送料通信費の徴集については、適宜常任理事会で決める。</p>

## 大会行事予定表

1. 会場 気象庁（東京都千代田区大手町1-3-4）  
     第1会場：講堂  
     第2会場：第1会議室  
     第3会場：気象大学校研修教室
2. 会期 5月22日（火）、23日（水）、24日（木）
3. 行事

行事			
大会（研究発表）（第1，第2，第3会場）	5月22日（火）	9.00～12.30	
" " "	" "	13.30～17.00	
大会（研究発表）（第1，第2，第3会場）	5月23日（水）	9.00～12.00	
シンポジウム（第1会場）	"	13.00～15.00	
総会（"）	"	15.00～	
学会賞藤原賞受賞記念講演（"）	"	～17.30	
懇親会（"）	"	17.30～	
大会（研究発表）（第1，第2，第3会場）	5月24日（木）	9.00～12.30	
" " "	" "	13.30～17.00	

大会委員長

今井 一郎

## 総会次第

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 理事長挨拶
4. 学会賞授与
5. 藤原賞授与
6. 昭和47年度事業経過報告
7. 昭和47年度会計決算報告
8. " 会計監査報告
9. 昭和48年度予算案，事業計画，予算審議
10. 会費の前納，入会金の値上げに伴う定款および細則の一部改正について
11. 其の他
12. 気象学会賞受賞記念講演
13. 藤原賞受賞記念講演

研究発表内容一覧表

( ): 座長

		第 1 会 場	第 2 会 場	第 3 会 場
22日	午 前 9.00~12.30	境 界 層 (島 貫 陸)	雲 物 理 (駒 林 誠)	大気物理・化学 (三 崎 方 郎)
	午 後 13.30~17.00	境 界 層 (光 田 寧)	雲 物 理 (菊 地 勝 弘)	大気物理・化学 (嘉 納 宗 靖)
23日	午 前 9.00~12.00	境 界 層 (近 藤 純 正)	熱帯気象と山越え気流 (山 岬 正 紀)	測 器 と 観 測 法 (青 柳 二 郎)
	午 後 13.00~15.00	シ ン ポ ジ ウ ム		
	15.00~17.30	総 会		
24日	午 前 9.00~12.30	対 流 雲 と 大 雨 (二 宮 洗 三)	大 気 大 循 環 (片 山 昭)	気 田 候 穰 (奥 田 穰)
	午 後 13.30~17.00	対 流 雲 と 大 雨 (浅 井 富 雄)	総 観 気 象 (倉 嶋 厚)	応 用 気 象 (矢野直, 森口実)

春季大会シンポジウム

「南西諸島海域における気団変質の研究」(AMTEX)

1. 日時 第2日(23日)(火) 13時~15時
2. 会場 第1会場(気象庁講堂)
3. 司会 曲田光夫
4. 研究発表

AMTEX 第2次研究会議の報告

岸保勘三郎

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1) 乱流輸送の相互比較観測                          | AMTEX 乱流輸送観測担当研究者グループ |
| 2) 飛行機, 塔による境界層の観測                      | 横山長之・蒲生稔・山本晋(公害資源研)   |
| 3) 南西諸島周辺の混合層の解析                        | 片山 昭(気研子報)            |
| 4) レーダおよび気象衛星ブライトネス分布による南西諸島域の擾乱の解析     | 二宮洗三(気研子報)            |
| 5) 冬季南西諸島付近における対流圏の構造(2) ——AMTEX 予備調査—— | 浅井富雄(京大理)             |

5. 自由討論

## 研究発表題目

大会第1日(22日)9時~12時30分

## 第1会場 境界層 座長 島 貫 陸

101. 近藤純正(防災センター): 海上の運動量, 顕熱, 蒸発のおのおのに関する輸送係数
102. 光田寧・文字信貴(京大防災研), 花房竜男・塚本修・林泰一(京大理): 琵琶湖湖面上における乱流輸送量の観測(その1)
103. 光田寧・文字信貴(京大防災研), 花房竜男・塚本修・林泰一(京大理): 琵琶湖湖面上における乱流輸送量の観測(その2)
104. 真木太一(農技研): 南極昭和基地における安定状態下の乱流構造
105. 安達隆史(東北大理): 昭和基地での乱流観測
106. 米谷俊彦・瀬尾琢郎(岡山農大): 水面上における乱流輸送の研究
107. 文字信貴(京大防災研): 境界層内の対流と乱れのスケールとの関係
108. 内藤勲夫(緯度観測所): 接地気層における乱れの特徴について
109. 山本晋・蒲生稔・横山長之(公害資源研): 飛行機による乱流フラックスの測定

## 第2会場 雲物理 座長 駒 林 誠

201. 権田武彦・国兼修三(東理大理工): 温度勾配を持つ下地物質上に成長する氷晶
202. 権田武彦・八田耕介(東理大理工): 低温高圧大気中における氷晶の成長(2)
203. 権田武彦・長田信夫(東理大理工): ファイバー上に成長する氷晶の高圧大気の影響
204. 山下 晃(東大理): 氷晶の凹面及び凸面の形態
205. 小林禎作(北大低温研): 氷の VLS 成長について
206. 播磨屋敏生(北大理): 雲粒付角柱状結晶の特性
207. 小林禎作(北大低温研)・大竹武(アラスカ大):

角柱結晶のいわゆる Twin Boundary について

208. 遠藤辰雄(北大理): 氷の表面電位測定
209. 岩淵武士・孫野長治(北大理): 凍結時の微水滴の荷電とその凍結形態について
210. 小林博和・遠藤辰雄・孫野長治(北大理): 減圧式エアゾル濃度自記装置の試作

## 第3会場 大気物理・化学 座長 三 崎 方 郎

301. 安井 豊(独協医大): 地震に伴う発光現象
302. 今井俊男(札幌管区): 自然放射能の研究(シベリヤ Rn の追跡)
303. 三宅泰雄(地球化学研究協会), 葛城幸雄(気研化学): 最近の北半球  $^{90}\text{Sr}$  降下の起源とその量
304. 川村 清・鈴木正基(気研化学): 大気中の気体状微量成分およびエアロゾルの化学成分について
305. 村松久史(気研高物): 大気オゾンに対する微量成分の効果
306. 岩坂泰信(名大理): RRKM 理論による  $\text{O}(^1\text{D}) + \text{N}_2 \rightarrow \text{O}(^3\text{P}) + \text{N}_2$  の検討
307. 福山 薫(京大理): 中間圏・下部熱圏における中性大気成分の分析(II)
308. 竹内利雄・仲野 責(名大空電研): 冬の北陸地方の雷
309. 仲野 責(名大空電研): 対地放電の放電路について
310. 岩坂泰信, 岡田菊夫(名大理): 雨滴の電荷分布—1971年9月豪雨及び1972年9月台風20号—
311. 児島 紘・関川俊男(東理大理): 都市大気中のエアロゾルの測定(1)
312. 池辺幸正・下 道国・村瀬秀美(名大工) Static 方式によるサブミクロン粒子の粒径分布測定(II) 測定結果

大会第1日(22日)13時30分~17時

## 第1会場 境界層 座長 光 田 寧

110. 蒲生 稔・山本 晋・横山長之(公害資源研): 飛行機による境界層上部の乱流観測(その3)
111. 佐橋 謙(岡山大教育): 簡易測定装置によつて測定された顕熱輸送量の解析
112. 下形茂雄・北林興二(公害資源研): 風洞内乱流と

拡散

113. 大西外史(防大地学): 三次元の拡散計算について
114. 栗田秀実(長野県衛生公害研): 風速変動による拡散幅および濃度分布の推定
115. 春口忠昭(防大地学): 風の周期研究
116. 内藤玄一・藤縄幸雄・近藤純正(防災センター):

## 海上における風速変動の観測 (IV)

117. 土屋巖 (気研), 樋口政男 (東教大), 林 陽生・相馬精二 (気研物理): 成層風洞による逆転層内の熱対流の実験
118. 坂上治郎 (お茶大理), 国井利泰 (東大理), 木村竜治・三沢信彦 (東大海洋研): ヒートアイランドに伴う対流の実験

## 第2会場 雲物理 座長 菊地勝弘

211. 上野文男・孫野長治 (北大理): 雪結晶に付着したマイクロサイズ粒子の観測
212. 石川照高・菊地勝弘 (北大理), 塩月善晴 (山口大工短部): Cold and Dry 地域における雪結晶の粒度分布
213. 山見信之 (北大理): Riming による氷粒発生率
214. 成瀬 弘 (気研応用): 日光における雲粒核の観測 (II)
215. 田中豊顕 (気研), 松原広司 (東京管区), 大田正次 (気研物理): 富士山頂における自然氷晶核の研究
216. 市村市太郎 (気研台風), 北川寿江 (気研応用): 台風の接近にともなう自然氷晶核数について
217. 高橋喜彦: 暖かい雲の雨滴生成の条件
218. 後町幸雄 (京大防災研): 雨滴計を用いた観測例
219. 梶川正弘 (秋田高専): 霰の落下速度の観測
220. 孫野長治・窪田貞子 (北大理): 降雪の大気清浄作用の研究 (第2報)
220. a 磯野謙治・石坂 隆 (名大理水研): 1973年2月~3月に浅間山噴火によって放出された火山灰の物質とその氷晶核化作用

## 第3会場 大気物理・化学 座長 嘉納宗靖

313. 嘉納宗靖・鈴木 正 (気研高物): 日射ゾンデの試作
314. 嘉納宗靖・宮内正厚 (気研高物): 放射ゾンデ測定値と理論値の比較について
315. 荒井哲男 (横浜地台), 山本二郎 (彦根地台), 藤崎雅彦 (日工大): 接地最底温度が地表面より上方に出現する原因について
316. 樋口敬二・名越昭男 (名大理水研): 積雪表面における固体粒子の蓄積とアルベドの関係
317. 関原 彊 (気研高物): 1961年から1971年にわたる日射波長別測定からみた東京の放射気候
318. 村井潔三・小林正治・後藤良三 (気研高物): 散乱光測定によるエーロゾルの高度変化の推定について
319. 嘉納宗靖・宮内正厚 (気研高物): 任意雲量の場合の長波長放射伝達の計算
320. 会田 勝 (横浜国大教): オゾン9.6 $\mu$ 帯の吸収の実験式
321. 岩坂泰信・掘井晴雄 (名大理): 中間圏のCO<sub>2</sub>分布モデル
321. a 山本義一・田中正之・野中善政 (東北大): 中間圏での二酸化炭素による放射の吸収及び放出
321. b 佐藤隆夫 (長崎大): 日没における一次散乱光の図示
321. c 佐藤隆夫 (長崎大): 傾斜面の日照時間を求める表の作成
321. d 佐藤隆夫 (長崎大): 水平光線の屈折量及び通過空気質量

## 大会場2日(23日) 9時~12時00分

## 第1会場 境界層 座長 近藤純正

119. 曲田光夫・西田圭子 (気研子報): 境界層の数値実験 (II)
120. 石井哲雄 (福井工業大), 近藤純正 (防災センター): 海洋最上層の数値シミュレーションによる研究 (2)
121. 北林興二 (公害資源研): 斜面上の風速分布
122. 水間満郎 (京大原子炉), 角田道生 (原研), 岩本智之・佐野治彦 (京大原子炉): 東海村における海陸風の観測 (最終報)
123. 高野憲治 (東大理), 高橋忠司 (埼大地球科学): 関東地域における海陸風の立体構造—72年夏の

## 観測—

124. 岡本雅典 (広島大), 山口信之 (高知大), 宮田賢二 (広島女子大): 瀬戸内海の高陸風 (IV)
125. 孫野長治・菊地勝弘・遠藤辰雄・播磨屋敏生・坂本洋和・足立俊三・石川照高 (北大理): 小寒冷気塊の海上流出による変質の観測 (第4報)
126. 須川 力・菊地直吉・後藤常男・内藤勲夫 (緯度観測所): 接地付近における気象要素の日変化特性の年変化について

## 第2会場 熱帯気象と山越え気流 座長 山岬正紀

221. 和田美鈴 (気研台風): 他緯度偏東風帯における順圧不安定波の3次元構造

222. 丸山健人(気研予報)：1967年ライン諸島実験中にみられた対流圏の気圧擾乱の構造
223. 井沢竜夫(気研台風)：高速フーリエ変換による多次元空一時スペクトル解析
224. 勝井辰宣(京都地台)：台風眼に関する力学的考察
225. 岡野 誠・荒川正一(気象大)：寒冷前線が山を越すときの変形について；数値実験
226. 古川武彦(気研台風)：山越気流におけるS字およびRotor流の形成

### 第3会場 測器・観測法 座長 青柳 二郎

322. 荒井哲男(横浜地台), 藤崎雅彦(日工大)：測定遅れの補正について
323. 和波衛身(松下通信工業)：気象庁3号プロボット・テレメータシステム
324. 宮崎忠臣・国分里美(宇大工), 滝沢延行(栃工高)：レーダによる栃木県地方の雷雲観測とその電算機処理(Ⅱ)
325. 徳植 弘・大田正次(気研)：サーミスターを利用した霧検知器について
326. 矢崎敬三(気象庁測器)：夜間の晴・曇を判別する

### 装置

327. 村山信彦・高島 勉・辻倉陽三・小平信彦(気研衛星)；小林功武・荒井 毅・長谷川武・加藤雅晴(ユニバック統研)：静止衛星画像の自動マッピング
328. 村山信彦・高島 勉・辻倉陽三(気研衛星), 井沢竜夫(気研台風), 小平信彦(気研衛星), 井上多門(東芝総研), 宮内一郎・鈴木啓太郎(東芝)：分割法によるATS画像からの風推定
329. 村山信彦・高島 勉・辻倉陽三(気研衛星), 井沢竜夫(気研台風), 小平信彦(気研衛星), 江尻正員・山本真司(日立中研)：ATS画像からの風推定に予測を適用する方法
330. 村山信彦・高島 勉・辻倉陽三・小平信彦(気研衛星), 田代 彰(日電), 星野幸夫(日電中研)：特徴点抽出によるATS画像からの風推定
331. 村山信彦・高島 勉・辻倉陽三・小平信彦(気研衛星), 太田和夫・杉本奈海夫・上原勝徳・山本誠・奥西 茂(富士通)：ATS雲画像から雨域を推定する方法

## 大会第3日(24日) 9時~12時30分

### 第1会場 対流雲と大雨 座長 二宮 洸三

127. 杉山清春(下関地台)：梅雨前線の特徴と大雨の関係
128. 秋山孝子(気研予報)：南西諸島域における梅雨期の大雨と下層 jet
129. 武田喬男(名大理)：47.7西三河・東濃地区豪雨の雨量解析
130. 塩井善晴(山口大工短部), 孫野長治(北大理)：一つの石狩平野降雪分布シミュレーション
131. 小元敬男・清野 豁・八木鶴平(防災センター)：北関東における降ひょう系の行動
132. 小元敬男・米谷恒春(防災センター)降ひょう日の大気垂直構造
133. 坂上 務・早川誠而(九大農)：レーダーによる対流性降雨特性
135. 柳沢善次・藤原美幸・神林慶子(気研台風)：尾鷲における局地性豪雨のレーダー解析
134. 今井博雄・武田喬男(名大理)47.9尾鷲豪雨の解析(第一報)

### 第2会場 大気大循環 座長 片山 昭

227. 木田秀次(東大理)：大気大循環10層モデルの検討

228. 広田 勇(気研予報)：夏期中間圏のプラネタリー波動
229. 川平浩二(京大理)：プラネタリー波の上方伝播と光化学反応
230. 中村 一(東大理)：プラネタリー波の鉛直構造
231. 山元竜三郎・岩嶋樹也(京大理)：準停滞性超長波の水平構造について
232. 山元竜三郎・岩嶋樹也(京大理)：超長波の変動の解析例
233. 岩嶋樹也(京大理)：超長波・長波に関するエネルギー過程の解析(Ⅲ)
234. 宮原三郎(九大理)：傾圧大気中での大気潮汐振動
235. 内藤勲夫(緯度観測所)：大気及び海洋の meridional oscillation について
236. 五月女敬太郎・迎正秋・鈴木剛彦(気象庁高層)：気象ロケット観測による上部成層圏天気図解析

### 第3会場 気候 座長 奥田 穰

332. 河村 武(気象庁予報)：西日本における局地風系
333. 河村 武(気象庁予報)：日本の都市における最近の気候変化
334. 吉野正敏(法政大地理)：最近の日本の諸都市にお

- ける気温の変化
335. 土屋 巖(気研企画): 空中探査によって求めた東京の夏季地表温度分布の特色
336. 中島暢太郎(京大防災研): 東南アジアのモンスーンによる雨の解析
337. 土屋 巖(気研企画): インドー太平洋降水量分布と熱帯循環の年々変動
338. 須田滝雄(舞鶴海洋台): 500mb 面における気圧と東西風に及ぼす太陽活動の影響
339. 小沢 正・阿部克也・内山良子(気研予報): 地上気圧配置の分類について
340. 小岩清水: 谷川岳, 一ノ倉沢の雪溪の実態<第二報>
341. 真鍋大覚・佐藤洋子(九大工): 縄文弥生の転換期に起っていた雲仙の大爆発
342. 真鍋大覚・佐藤洋子(九大工): 古水城の静振と決潰
342. a 中西 朗(新潟市立中野山小): 東シベリアの最低気温と北日本の白鳥渡来総羽数

## 大会第3日(24日) 13時30分~17時

## 第1会場 対流雲と大雨 座長 浅井 富雄

136. 藤原美幸・椎野純一・柳瀬利子(気研台風): 低い雲からの豪雨の発生機構について(3)
137. 榎原 均(名大理): 地形性層雲の雲物理的構造(数値実験)
138. 榎原 均(名大理): 積雲と地形性層雲の雲物理的相互作用(数値実験)
139. 椎野純一(気研台風): 湿潤飽和大気中における浅い対流の定常一次元モデル
140. 近藤洋輝(気象庁電計): 積雲対流モデルの数値実験(続報)
141. 山岬正紀(気研台風): 条件付不安定大気中の対流(有限振幅の場合I)
142. 北出武夫(気研台風): 3次元セル状対流の数値モデル(Ⅲ)
142. a 太田常雄(北大理): 波状雲, 列状雲の mode について

## 第2会場 総観気象 座長 倉嶋 厚

237. 百瀬晴行・岸保勘三郎(東大理): 衛星写真を用いた中国大陸, 東シナ海の雲の解析
238. 竹内衛夫・阿部克也(気研予報): 海洋上の低気圧発生の研究(第1報)
239. 大井正一・藤田敏夫・本多庸孝・内山徳栄(気研予報): 日本付近の低気圧の発生(3)(南西諸島付近)
240. 大井正一・内山徳栄(気研予報): 成層圏天気図の解析(22)(春における変化)
241. 大井正一・内山徳栄(気研予報): 成層圏天気図の解析(23)寒波の構造
242. 三浦勇一(東理大理工): 中規模擾乱域における運動量及び熱エネルギーの対流輸送

243. 渡辺 明(東京航空地台): Turbulence area と Index について
244. 岩下 洋(防大地学): 晴天乱流の総観的研究
245. 千秋鋭夫(電中研): 汚染ポテンシャル予測のための天気図分類
246. 元田雄四郎(九大農), 塩月 善晴(山口大工), 早川誠而(九大農): 地上風流線と大気汚染
247. 藤井盛澄(大阪電通大): 亜熱帯上層風の経度変化

## 第3会場 応用気象 座長 矢野 直, 森口 実

343. 朝来野国彦(都公害研): 清浄地域における汚染物質の動態
344. 佐藤公喜(愛知県公害調査センター): 非断熱大気中のエアロゾルの粒度分布について
345. 内藤恵吉・横田良夫・高橋克己・田端 功(気研衛星), 池野達哉(気協会): 煙流のライダー解析
346. 阿部友三郎(東理大理), 武市 智(気象庁通報): 山形県吹浦海岸における海水安定泡沫の飛散と気象
347. 阿部豊雄・栗原孝行・末永昌久・阿部友三郎(東理大理): 洋上下層大気中における海塩微粒子の挙動について一流跡線解析一
348. 栗原孝行・末永昌久・阿部豊雄・阿部友三郎(東理大理): 防風林による海塩微粒子の捕捉について
349. 荒川秀俊・阿部健次・伊藤勇一・井上啓一郎・佐藤行信・平井 広(東海大理): 森林による騒音の減衰
350. 吉田 茂(川崎市立橋高): 陸上・長距離レースに及ぼす気象の影響一東京, 箱根間駅伝競争を例として一
351. 片山功仁慧(東大医), 靱山政子(気研応用): 疾病の発生と気象との関係一日本脳炎を例として一



352. 靱山政子（気研応用），片山功仁慧（東大医），竹内寿一郎（慶応大工）：死亡の季節変動の統計的解析

353. 竹内寿一郎（慶応大工），靱山政子（気研応用）：センサスメソッドⅡによる乳児死亡の季節変動の解析

---